

平家物語ゆかりの須磨の地より…史学科 学園祭「コスモス祭」でのイベント

平成24年11月17日(土)・11月18日(日)に神戸女子大学文学部 史学科では平家物語ゆかりの地でもある須磨キャンパスの学園祭「コスモス祭」で二つの催し物を行いました。

「平家なう」史学科 拓本展

史学科では学芸員の資格を取得できます。学芸員の資格に必要な科目、博物館実習(寺沢 知子教授担当)で行う実習のひとつとして毎年テーマを決めて拓本を採り学園祭で展示しています。平成24年の学園祭「コスモス祭」では、平家ゆかりの史跡を主にした拓本展「平家なう！ーモノクロで甦る世界ー」と題した拓本展を開催しました。

博物館実習を履修している学生は、夏休みにテーマになっている史跡を分担して手作りの拓墨(たくぼく)を使い拓本を採りました。展示の拓本のキャプションは来場者にわかりやすいように学生各自で工夫をしました。兵庫県内の平家ゆかりの史跡を探すだけでなく、自分の出身地でも



『すみあ〜と』

平家ゆかりの史跡はないか調べその拓本の展示も行いました。

来場者が拓本の体験ができるコーナーと過去の拓本展の記録誌である博物館学芸員実習記録『すみあ〜と』の閲覧コーナーも設けました。初日はあいにくの雨となりましたが、2日間の拓本展は多くの来場者を迎え賑わいました。



拓本を採る学生



展示された拓本



拓本展の準備(左が寺沢知子教授)



拓本展の様子



来場者の拓本体験を指導

神戸女子大学史学会大会 公開講演 「平氏と日宋貿易!??」

平成24年11月17日(土)に神戸女子大学史学会主催による公開講演会が開かれました。

神戸女子大学史学会は歴史学研究的の向上と交流を目的に神戸女子大学の史学科の教員、大学院生、学部生および卒業生で構成されています。昭和55年に結成されました。

毎年、学園祭に合わせて総会を開き公開の講演会を行っています。平成24年は平家にちなんだテーマ「平氏と日宋貿易!??」の演題で山内 晋次准教授が90分にわたり講演しました。82名の出席者は平氏と日宋貿易のかかわりについての新しい見解に熱心に耳をかたむけました。



山内晋次准教授



講演会の様子

ポートアイランドキャンパス 改修新装オープンのお知らせ



開放感のあるガラスサッシを使用



ゆったりとした学生のスペース

ポートアイランドキャンパスのキャリアサポートセンター、教職支援センター、保健室は、移転を伴う改修工事が終了し、平成24年9月から新しいスペースで業務を開始しました。

教職支援センターは平成23年4月にポートアイランドキャンパスA館1階に仮のスペースで開設しました。また、キャリアサポートセンターは、手狭なスペースで業務を行ってきました。この度、A館1階を改修し、キャリアサポートセンターと教職支援センターとが共通のスペースに設けられました。

ポートアイランドキャンパスA館の玄関を入ってすぐの便利な場所に移転したために学生が利用しやすくなりました。就職情報の資料の閲覧や書類作成をゆったりできるようになり、学生同士の情報交換も活発に行えるようになりました。また、パソコンでの検索、職員への相談もしやすくなりました。

明るいスペースには、資料コーナー、閲覧コーナー、面談室も設けられました。

両センターが同じ部屋になったことで、さらに連携し、一層充実した学生支援を行っています。



(上)情報交換する学生 (下)学生相談室

保健室も広くなり、新たに相談スペースを設置し教職員の健康診断や学医による健康相談に使用しています。ベッド数も増えポートアイランドキャンパス内でもっとも静かな場所に移転したことで、より安らげる空間になりました。



ベッド数も増え、機能的になった保健室

総合生活学科 新講座が開講される…美しさの追求

神戸女子短期大学総合生活学科は、現代の生活の多様化を受け、衣食住はもとより、生活全般にかかわる課題を総合的に学ぶことができる学科です。学科では、実習を中心とした授業が多く開講されており、時代を先取りしていこうと新しい価値感覚を求めて変化を続けています。

若い世代が興味をもち、学生の可能性をさらに広げられる学科のカリキュラムの充実を図ることを目的に、今年度はネイルアート演習が開講されました。平成20年度入学生から既に関講されているメイクアップ関連の科目とともに、美の多様性を追求しながらも場に応じたみだしなみの知識と技術を学ぶ授業の紹介をします。

■■ ネイルアート演習(久野 麻衣 講師担当) ■■

健康で清潔な指先を育てるための正しい知識と技術を学び、基本のケアを理解したうえで、社会に通用するネイルアートを学びます。ネイルの基礎理論の講義と技術を学ぶ授業が交互に進められます。

基礎理論では、爪の病気、色彩理論、消毒法などを学びます。実技では、学生同士が互いの爪で練習する「相モデル」の形態でネイルアートやカラーリングの技術を習得します。

少人数での授業が行われるため、受講生は久野講師の手本のカラーリング技術を目の前で見ることができ、懇切丁寧な指導のもと熱心にお互いの爪でカラーリングの実習をしました。緊張しながら集中して細かい作業を進めていくため、完成したときには、ほっとした笑顔が毎回こぼれました。



一人ひとりに丁寧に指導する久野麻衣講師



カラーリングの作業



完成したフレンチデザイン(ボーダー)

■■ メイクアップ演習(遠藤 瑞穂 講師担当) ■■

メイクアップは自分の潜在意識の活性化と将来の夢の実現につながる心のコミュニケーションのツールとして捉えます。

授業では、対人認知、コミュニケーション、スキンケア知識、メイクアップ技術をロールプレイやデモンストレーションを通して学び、また、肌タイプや美しさの基準、理想の肌を保つための日常生活・習慣についての講義もあります。

そして、なりたい自分を意識することや自己を客観的に見ることによって、自分を美しく実現する手段としてメイクアップやスキンケアの正しい技術や肌についての知識を身につけることができます。

遠藤講師のパワーポイントを使った講義をおりまぜて、マネキンを使ったメイクアップのテクニックを実演される授業は理解しやすく、すぐに役立つ知識が得られて学生に大変好評でした。



遠藤瑞穂講師のマネキンを使った実演



真剣な表情で鏡に向かう学生